

磐井川における水生生物の保全に係る
水質環境基準の類型について
(案)

令和 4 年 1 月

岩手県環境生活部環境保全課

目 次

1	類型の検討	1
(1)	水温の状況	1
(2)	魚介類の生息状況	1
(3)	水域の構造等の状況	2
(4)	その他関連情報	2
2	特別域の設定の検討	3
3	達成期間の設定	3
4	水生生物の保全に係る水質環境基準の類型指定（案）	4

1 類型の検討

(1) 水温の状況

磐井川の平成 28～令和 2 年度までの各年平均水温は、環境基準点で 15℃以下である。

表 1－1 環境基準点における水温の状況（平成 28 年度～令和 2 年度）

水域の名称	年平均水温	冷水性と温水性の魚介類の 生息環境の判断目安
磐井川上流	9.2～13.0℃	15℃
磐井川中流	10.1～14.5℃	
磐井川下流	11.2～14.7℃	

(2) 魚介類の生息状況

磐井川では、冷水性と温水性の魚介類が確認されている。

表 1－2 魚介類の生息状況

水域	生物A (比較的低温域を好む 水生生物)	生物B (比較的高温域を好む 水生生物)	その他 (水温の適応範囲が 広い水生生物)	分類 ^{注)} 記載外
磐井川	ハナカジカ カジカ ヤマメ イワナ サクラマス アメマス スナヤツメ(北方種) スナヤツメ(南方種)	ウグイ オイカワ トウヨシノボリ オオヨシノボリ シマヨシノボリ ニホンウナギ	—	スナゴカマツカ タナゴ(在来種) ギバチ ビワヒガイ モツゴ タイリクバラタナゴ ミナミメダカ
種数	8	6	—	7

注) 種の分類については、「水生生物の保全に係る環境基準の類型指定について(平成 18 年 6 月 30 日 環水大水 060630002 号)」別紙「主な魚介類の淡水域における水域区分の分類及び生息に関する情報について」による。

(3) 水域の構造等の状況

磐井川の河床材料は、上流で岩盤・岩・砂礫が、中流で岩・巨石・砂礫が、下流で岩・砂礫・泥が混在している。

主な河川構造物として磐井川発電所取水堰があり、魚道は設置されていない。

(4) その他関連情報

磐井川では、長者の滝橋より上流で漁業権が設定されている。

磐井川における内水面漁業権の設定状況を表 2－3 に示す。

また、磐井川上流漁業協同組合によりヤマメが放流されている。

表 1－3 内水面漁業権の設定状況（岩手県）

漁業権免許番号	漁業権者	漁業種類	魚種	存続期間
内共第33号	磐井川上流漁業協同組合	第五種 共同漁業	やまめ いわな うぐい	平成25年9月1日 ～ 平成35年8月31日
漁場の区域	一関市巖美町長者滝橋上流端の線から一ツ石沢との合流点までの磐井川本流及び一ツ石沢を含むその支流の区域(小猪岡川上流の鞍掛沼を除く。)			

出典：岩手県規則第 88 号(昭和 47 年 11 月 28 日)

2 特別域の設定の検討

磐井川では、水産資源保護法に基づく保護水面の設定はない。

また、産卵場又は幼稚仔の生育場、それらの保護が図られている区域の情報はない。

3 達成期間の設定

水生生物保全環境基準の全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）は、磐井川上流、中流及び下流において、いずれの項目も生物Aの環境基準値を充分下回っており、磐井川流域にそれら項目の排出事業場はない。

表 3－1 磐井川上流の水質測定結果（令和 2 年度）

項目	最小～最大	平均	生物A類型 基準値（参考）
全亜鉛（mg/L）	0.001～0.004	0.003	0.03 以下
ノニルフェノール（mg/L）	<0.00006～<0.00006	<0.00006	0.001 以下
L A S（mg/L）	<0.0006～<0.0006	<0.0006	0.03 以下

備考 「<」記号は、定量下限値未満を示す。

表 3－2 磐井川中流の水質測定結果（令和 2 年度）

項目	最小～最大	平均	生物A類型 基準値（参考）
全亜鉛（mg/L）	<0.001～0.002	0.002	0.03 以下
ノニルフェノール（mg/L）	<0.00006～<0.00006	<0.00006	0.001 以下
L A S（mg/L）	<0.0006～0.0014	0.0010	0.03 以下

備考 「<」記号は、定量下限値未満を示す。

表 3－3 磐井川下流の水質測定結果（令和 2 年度）

項目	最小～最大	平均	生物A類型 基準値（参考）
全亜鉛（mg/L）	0.001～0.004	0.003	0.03 以下
ノニルフェノール（mg/L）	<0.00006～<0.00006	<0.00006	0.001 以下
L A S（mg/L）	<0.0006～<0.0006	<0.0006	0.03 以下

備考 「<」記号は、定量下限値未満を示す。

4 水生生物の保全に係る水質環境基準の類型指定

以上の調査結果より、磐井川水域の類型を見直しするに足りる情報はなかったことから、現状の河川生物A類型を維持することとする。

表 4 類型指定状況

水域の名称	範囲	水域類型	達成期間	環境基準点	暫定目標
磐井川	磐井川と北上川との合流点より上流の磐井川本流	河川生物A	直ちに達成	長者の滝橋 上の橋 狐禅寺橋	—